

9-6

回想法の要素を取り入れた「居酒屋」行事の取り組み

アルコール効果による楽しい気分と昔懐かしい思い出話

居酒屋

回想法の要素

特別養護老人ホーム 富士見台特別養護老人ホーム

相談係長 大塩 智	共同研究者（施設長 海老根典子）
練馬区富士見台1-22-4	共同研究者（介護士 牧野真也・松本正美）
TEL： 03-5241-6010	E-mail： fujimi-tokuyoh@nerima-swf.jp
FAX： 03-5241-1760	URL： http://www.nerima-swf.jp

今回の発表の施設 またはサービスの 概要	平成6年開設。社会福祉事業団が運営する区立施設。特養50名。ショートステイ6名・デイサービス（一般型40名、認知型12名）・支援センター、居宅事業所、地域包括支所、訪問介護事業を併設する。閑静な住宅地に立地する施設です。
----------------------------	--

<p>〈取り組んだ課題〉</p> <ul style="list-style-type: none">・楽しみある生活援助の一環として、「お酒を飲む機会」をつくる。・役割と暮らしを取り戻す一つの取り組み。・参加者の選定と人数制限。・外出・外食の機会をつくる。・介護・看護・相談各セクションの協力体制の確立。	<p>〈活動の成果と評価〉</p> <ul style="list-style-type: none">・普段の生活のなかでは見られない笑顔やその方の本音新しく知る性格など、お客様とのなじみの関係形成がより深くなされた。・職員とお客様の関係性の中で、ルーチンな業務以外の関わりを通して、職員のストレスが軽減された。・「生活の場」での「役割」と「暮らし」を体感することで、過去に担ってきた家族の一員である自信を思い出した。・昔楽しんだ趣味を思い出し、披露することにより、満足感の充足と教えることの楽しさを体感した。・お店の「居酒屋」に外出することにより、社会生活に触れ、生活の楽しみを見いだした。
<p>〈具体的な取り組み〉</p> <ul style="list-style-type: none">・テーマを設定し、季節感のある雰囲気づくり。・当時の流行歌や懐メロをBGMとして、思い出のきっかけ作り。・若いときの経験やお酒での失敗談など、会話の糸口を探る。・本音を語らないお客様へのアプローチ。・買い物・会場準備・盛り付けなど、企画の段階からの参加。・後片付け、清掃など「役割」づくり。・お店の「居酒屋」でお酒を楽しむ。・夜勤者の業務負担を考慮した参加人数と飲酒の了解をキーパーソンより得る。・バイタルチェック・飲酒量の確認・日勤者から夜勤者への情報提供など各セクションとの協力体制の確立。・参加費は一人1,000円。差額は行事費より算出。	<p>〈今後の課題〉</p> <ul style="list-style-type: none">・家族の方に参加をいただき、一緒にお酒を楽しみながら、過去の記憶や体験を思い出し、楽しかった思い出や辛かった時代などの話を共有する。・ボランティアの活用や地域開放。 <p>〈参考資料など〉</p>

【メモ欄】